

■森ノ宮医療大学保健医療学部 鍼灸学科(スポーツ特修コース)平成30年度入学生対象 カリキュラムマップ

区分					卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)					
					履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
<p style="text-align: center;">ディプロマポリシー (DP: 学位授与方針)</p>					<p>【卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)】</p> <p>●鍼灸学科の方針 鍼灸学科では鍼灸コースとスポーツ特修コースのいずれかを選択することとなります。鍼灸コースとスポーツ特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士(鍼灸学)の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。</p> <p>スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位(中学校・高校教諭35単位、高校教諭29単位)を取得した者には、中学校・高等学校教諭一種免許状[保健体育]が与えられます</p> <p>●4つのディプロマ・ポリシー</p> <p>①精度の高い専門的知識と専門技術 地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。</p> <p>またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修した者は学校教育現場において、医療知識と技術を生かした指導ができるようになります</p> <p>②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力 地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。</p> <p>③豊かな人間力 他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。</p> <p>④主体的問題解決能力 はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。</p> <p>スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。</p>					
					授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①
		必修	選択							
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修16単位以上+選択2単位以上		○	○	○	
		物理学	1後	2				○		
		生物学	1前	2				○		
		化学	1後	2				○		
		情報処理	2後	2				○		
		統計学	3前	2				○		
	人間理解と社会	心理学	2後	2				○		
		生命倫理学	2前	2				○		
		哲学	1後	2				○		
		社会福祉学	3後	2				○		
		東洋史概説	3前	2				○		
	語学	西洋史概説	3後	2				○		
		日本国憲法	1前	2				○		
		英語Ⅰ(初級)	1前	2				○		
		英語Ⅱ(中級)	1後	2				○		
英会話		2前	2			○				
医学英語		3前	2			○				
学部共通科目群	保健医療	基礎英語演習	2前	2			○			
		応用英語演習	2後	2			○			
		スポーツ健康科学演習	1後	2				○		
		健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前	2				○		
		健康管理学Ⅰ	2前	2				○		
		健康管理学Ⅱ	2後	2				○		
		チーム医療とコミュニケーション	2前	2			○			
		栄養学	2後	2				○		
		身体運動科学	2後	2				○		
東洋医療概論(鍼灸史を含む)	1後	2				○				
統合医療概論	3後	2				○				
IPW論	3前	1				○		○		

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針

鍼灸学科では鍼灸コースとヘルシー付添コースへのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・ヘルシー付添コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるように、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校教諭35単位、高校教諭29単位）を取得した者には、中学校・高等学校教諭一種免許状[保健体育]が与えられます

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修した者は学校教育現場において、医療知識と技術を生かした指導ができるようになり

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ（骨・筋）	1週	4			○	○	
		解剖学Ⅱ（神経）	1前	2			○	○	
		解剖学Ⅲ（内臓・脈管）	1後	2			○	○	
		生理学Ⅰ（動物生理学）	1前	2			○	○	
		生理学Ⅱ（植物生理学）	1後	2			○	○	
		生理学Ⅲ（応用生理学）	1後	2			○	○	
		運動学	2前	2		○		○	
		生化学	2前		2			○	
	疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進	病理学	2前	2				○	
		臨床医学総論（症候学）	2前	2				○	
		整形外科	2前	2				○	
		内科学	2後	2				○	
		臨床医学各論Ⅰ（脳神経外科・神経内科）	3前	2				○	
		臨床医学各論Ⅱ（外科学・麻酔科学・小児）	3前	2				○	
		臨床医学各論Ⅲ（感覚器）	3後	2				○	
		スポーツ医学	3前	2		○		○	
		リハビリテーション医学	3後	2		○		○	
		画像診断学	3後	2				○	○
	きゅう師の理念及び保健医療福祉	衛生学公衆衛生学	3前	2				○	
保健医療倫理（社会保障・職業倫理を含む）		4後	1				○		
専門科目	基礎はりきゅう学	経絡経穴Ⅰ	1前	1		○			
		経絡経穴Ⅱ	1後	1		○			
		経穴局所解剖演習Ⅰ	2前	1		○			
		経穴局所解剖演習Ⅱ	2後	1		○			
		鍼灸科学概論Ⅰ	2後	1		○			
		鍼灸科学概論Ⅱ	3前	1		○			
		東洋医学概論Ⅰ	1前	1		○			
		東洋医学概論Ⅱ	1後	1		○			
		東洋医学概論Ⅲ	2前	1		○			

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針

鍼灸学科では鍼灸コースとペーパー研修コースのいずれかを選択することとなります。鍼灸コースは4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるように、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校教諭35単位、高校教諭29単位）を取得した者には、中学校・高等学校教諭一種免許状[保健体育]が与えられます

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修した者は学校教育現場において、医療知識と技術を生かした指導ができるようになり

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	記当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科専門科目群	臨床はりきゅう学	鍼灸安全学（はき適応を含む）	3後	1		○			
		臨床生理学	2後	1		○			
		臨床鍼灸学（OSCE対策演習）	3後	1		○			
		生体観察	3前	1		○			
		運動機能検査法	2前	1		○			
		現代医学系鍼灸学Ⅰ（整形外科系）	2後	2		○			
		現代医学系鍼灸学Ⅱ（整形外科系）	3前	2		○			
		現代医学系鍼灸学Ⅲ（内科系）	3後	1		○			
		東洋医学系検査法	2前	1		○			
		東洋医学各論Ⅰ	2後	1		○			
		東洋医学各論Ⅱ	3前	1		○			
		き社 学ゆり うは	鍼灸経営論	4後	1		○		
	関係法規		4前	1		○			
	実習	基礎鍼実技Ⅰ	1前	1		○			
		基礎鍼実技Ⅱ	1後	1		○			
		基礎灸実技Ⅰ	1前	1		○			
		基礎灸実技Ⅱ	1後	1		○			
		応用鍼灸実技Ⅰ（特殊鍼法）	2前	1		○			
		応用鍼灸実技Ⅱ（ロールプレイ・施術所具）	2後	1		○			
		現代医学系鍼灸学実習Ⅰ	2後	1		○			○
		現代医学系鍼灸学実習Ⅱ	3前	1		○			○
		現代医学系鍼灸学実習Ⅲ	3後	1		○			○
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅰ	2後	1		○			○
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅱ	3前	1		○			○
		東洋医学系鍼灸学実習Ⅲ	3後	1		○			○
		応用鍼灸治療学	4前	1		○			○
臨床灸実習		3後	1		○			○	
特殊鍼灸治療学（刺絡・通電等）		4前	1		○			○	
実臨床		附属施術所基礎実習	3週	2		○			○
	附属施術所応用実習	4週	2		○			○	

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針

鍼灸学科では鍼灸コースとペーパー研修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コースとペーパー研修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるように、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校教諭35単位、高校教諭29単位）を取得した者には、中学校・高等学校教諭一種免許状[保健体育]が与えられます

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修した者は学校教育現場において、医療知識と技術を生かした指導ができるようになり

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	記当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科専門科目群	総合領域	キャリアデザイン	1前	1			○	○	○
		鍼灸総合演習Ⅰ	4前	2		○			
		鍼灸総合演習Ⅱ	4通	2		○			
		鍼灸総合演習Ⅲ	4後	2		○			
		運動生理学	3前	2		○			
		運動生理機能学演習	3後	2		○			
		卒業研究Ⅰ	3通	1		○			○
		卒業研究Ⅱ	4通	1		○			○
		学外見学実習Ⅰ	2通	1		○			○
		学外見学実習Ⅱ	4通	1		○			○
	保健体育	スポーツ実習Ⅰ 体づくり運動	1前	1		○			
		スポーツ実習Ⅱ サッカー	3後	1		○		○	
		スポーツ実習Ⅲ 陸上競技	1後	1		○		○	
		スポーツ実習Ⅳ 柔道	3前	1		○		○	
		スポーツ実習Ⅴ ダンス	1前	1		○		○	
		スポーツ実習Ⅵ 器械運動	2後	1		○		○	
		スポーツ実習Ⅶ 水泳	2後	1		○		○	
		スポーツ実習Ⅷ 生涯スポーツ	2前	1		○			
		学校保健(小児保健・精神保健)	3前	2		○			
		学校保健(学校安全・救急処置)	3後	2		○			
トレーニング科学演習Ⅰ(レジスタンス)	1後		1	○		○			
トレーニング科学演習Ⅱ(エアロビック)	1後		1	○		○			
トレーニング科学演習Ⅲ(レジスタンス)	2後		1	○		○			
トレーニング科学演習Ⅳ(指導実習)	3後		1	○		○			
体力トレーニング論	1前		2	○					
テーピング技術論	2前		1	○					
スポーツバイオメカニクス	2前		2	○					
介護学概論	3後		1	○		○			
老年ケア演習	3後		1	○		○	○		
体育原理 ※	3前		2	○		○			

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●鍼灸学科の方針
鍼灸学科では鍼灸コースとペーパー特修コースのいずれかに所属することとなります。鍼灸コース・ペーパー特修コースともに4年以上在籍し、卒業要件単位数を取得した者に卒業が認定され、学士（鍼灸学）の学位が与えられます。これは、はり師、きゅう師国家試験受験資格となります。専門職医療人として、高い人間性と知識・技術を駆使できるよう、下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

スポーツ特修コースは2年次より選択することとなります。スポーツ特修コースに在籍し、コース卒業要件単位数を取得した者に対しては、スポーツ特修コース修了証が与えられます。加えて、許可を受けたものは3年次より教職課程を履修し、所定の単位（中学校・高校教諭35単位、高校教諭29単位）を取得した者には、中学校・高等学校教諭一種免許状[保健体育]が与えられます

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術
地域医療やスポーツ、健康領域において、他分野の専門職とチームを構成し、はり師、きゅう師の専門知識と専門技術を活用することが出来ます。

またスポーツ特修コースでは、スポーツや科学的トレーニングに関する高い専門知識や指導技術を身につけ、スポーツ指導の現場や教職課程を履修した者は学校教育現場において、医療知識と技術を生かした指導ができるようになり

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力
地域医療やスポーツ、健康、教育領域の他職種に関する幅広い知識と理解を得ることにより、他職種との協調や連携、コミュニケーションといった能力を駆使してチームとしての医療活動が可能となります。

③豊かな人間力
他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力
はり師、きゅう師として、医療を必要とする者や家族の悩みや希望を受け止め、思いに答えるための知識や技術の向上に主体的かつ探求的に取り組み、問題を解決できるようになります。

スポーツ特修コースでは、医療資格に加えスポーツ指導や教育に関する資格を持つ者として、関係者の様々な思いや地域社会のニーズを理解し、主体的に解決できるようになります。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学科専門科目群	保健体育	スポーツ心理学 ※	3後		2	○			
		スポーツ鍼灸学総論	3前		1	○			
		スポーツ鍼灸学各論	3後		1	○			
		スポーツ傷害学・栄養学	4前		2	○			
		スポーツ経営学	4前		1	○			
卒業要件単位数					140				